

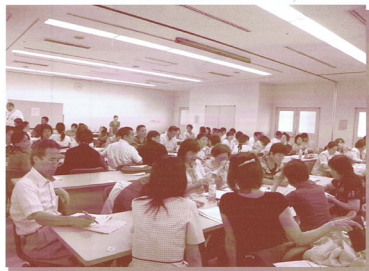
朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.29 平成21年9月16日発行(通巻第29号)

Vol.29

協議会のキャラバン・メイト63名が誕生!

平成21年8月8日、朝倉市総合市民センター(ピーポート甘木)にて、認知症専門医の浦谷陽介氏、大牟田市認知症ケア研究会の担当者3名の専門家を講師に招き、管内初のキャラバン・メイト養成研修が行われた。全体で109名の受講があり、その内、当協議会においては朝倉市41名、筑前町19名、東峰村3名の計63名のキャラバンメイトが誕生した。今後は認知症サポーター増加の足がかりとして各メイト主導による講座の開催に期待が集まる。



メイト養成講座は、まず礎となる認知症の正しい理解にはじまり、サポーター養成講座をスムーズに開催・運営するためのカリキュラム試作といった具体的な方法論や地域の視点に立った認知症患者への支援体制づくりを考えるグループワークなどが専門家の指導の下に行われた。

誕生したメイトは今後各地域のリーダーとして、行政とも連携しながら「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を目標に積極的な活動が求められる。

協議会ホームページへ今すぐアクセス! <http://www.asakura.in>

朝倉介護

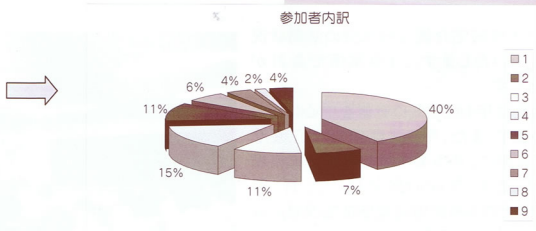
検索

事業報告 I

平成21年度 第2回スタッフセミナー アンケート結果

(1) 参加者数 388名

参加者数 388名	
一般	
1 介護職	160
2 相談員	27
3 訪問介護員	41
4 介護支援専門員	58
5 看護師	43
6 施設長・管理者	23
7 PT・OT・ST・医師	15
8 行政職	7
9 その他	14
合計	388



(2) 事業所 業種 職種

事業所	業種	職種	人数	
旧夜須町	26 居宅介護支援	41 介護職	109	
旧三輪町	60 訪問介護・入浴	29 相談員	26	
旧甘木市	121 訪問看護	4 訪問介護員	30	
旧朝倉町	37 訪問リハビリ	3 介護支援専門員	49	
旧杷木町	16 通所介護	49 看護師	40	
旧小石原村	19 通所リハビリ	17 保健師	2	
旧宝珠山村	4 支援センター	11 OT	6	
その他	21 居宅管理療養	0 PT	4	
合計	304	31 ST	0	
		介護福祉施設	59 医師	1
		介護保健施設	29 薬剤師	0
		小規模多機能	0 栄養士	6
		病院・医院	11 調理師	1
		行政	5 管理者	8
		福祉用具貸与・住宅改修	12 事務職	6
		その他	3 行政職	5
		合計	304	11
		合計		304

(3) アンケート回答者数 304名

1 非常に良かった	90
2 良かった	156
3 普通	30
4 良くなかった	1
5 未記入	27

アンケート回答率 78.3%

(4) スタッフセミナー参加のきっかけ

1 協議会よりの案内	120
2 協議会のホームページ	3
3 事業所からのすすめ	174
4 知人からの進め	0
5 その他	1

(5) ① 講義内容について

- ・利用者様に今からも目を向けて、日々の業務にあたり認知症の方と一緒に楽しく過ごしていきます。
- ・脳、記憶、認知症、こんなに詳しく講義されとても深い話でした。だれもが付き合って、向き合っていく必要はない問題と思います。
- ・講義内容も分かりやすく理解できました。何より「認知症を否定的にとらえない」など認知症に対する見解がひろかった。
- ・時間の足りない講義でした。今後パート1・2・3と連続で受けられたらと思います。パネルの文字が大きくて助かりました。
- ・資料と話す内容が一緒でなく、ついていけない場面や、書かれていないところあり記録が取りづらかったです。
- ・認知症の方を理解しなければいけないと思えば思うほど、現場で自分の感情が出そうになり苦しかったです。今回の講義で認知症が奥深く理解でき自分の気持ちをコントロールできそうです。

② 内容・在り方

- ・90分連続の講義は、集中方も無くなりかなりきつい。途中10分間休憩を入れて欲しい。
- ・実技的なことのセミナーをして頂きたい。(例)小グループで、移乗、体交、接客など全員が参加し体験できる研修をしてほしい。
- ・介護職、家族など実際に介護に携わっている方の生の声が聞きたいです。

③ 協議会への要望等

- ・皮膚疾患に対する感染症の講義をしてほしい。
- ・セミナーの内容等を選択できるアンケートがあったら良いと思う。また、スキルアップにつながる研修をお願いします。
- ・毎回参加し大変勉強になっています。案内状は発送されたらどうでしょうか？
- ・スタッフの皆様の方に感心させられます。これからも若い人たちに引き継がれ発展する事を望みます。NPO法人化されてはどうでしょうか。
- ・毎回参加したいと思っているのですが、例えば、託児などしていただくと参加しやすいと思います。(夕食時なので難しいと思いますが)

部会活動報告Ⅰ

居宅介護支援部会

21年度居宅介護支援部会の活動状況を報告いたします。21事業所で会員が55名です。

活動は年4回で主に研修を中心に行っています。また、年6回程朝倉市介護サービス課による事業所情報交換会に出席しています。今回の研修は、「写真：給付対象となる福祉用具及び住宅改修の取扱いについて」です。

サービスの多様化に対して、適切で効果的な介護サービスの提供が図られていくために日々研修等に励んでいます。

また、他部会との業務の共有を目的にグループディスカッションを実施します。利用者様の希望や本人の意志を尊重し、適切な介護サービスが総合的・効率的に提供されるように、プランを作成し利用者様に支援できるよう活動を行っていきたいと考えています。



部会活動報告Ⅱ

介護老人福祉施設部会

福祉施設部会は、朝倉市内の介護老人福祉施設、8事業所で構成されており、年間4回の部会を開催しています。又、福祉施設部会には、下部組織として、うぐいす会（施設の現場実務に属する若い職員で構成）と、実務担当者情報交換会（現場経験の豊富で、管理業務をこなせる職員で構成）があります。この下部組織から上がってきた、現場の意見や動向等を広く収集しながら、現在直面している課題に対して、タイムリーに部会参加の施設長間での情報交換、検討を実施しています。



今年度は、平成21年4月の介護保険制度改正時の加算についての検討にはじまり、雇用管理、施設運営等、まだまだ課題が山積みされています。一つ一つの課題について多種多様な意見を収集しながら、朝倉地区の利用者、又高齢者の皆様方に心から満足して頂けるように、共に研鑽しあいながら、共にサービスの質の向上に向けて、真摯に取り組んで参りたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

Hobby Box

～ 那覇マラソン ～

朝老園 デイサービスセンター 中川 恭裕 さん

私が那覇マラソンに初めて参加したのは27歳の時、友人から誘われたことがきっかけでした。最初は決して走ることが好きではなかった私が出場を決めたのは、何か自分のなかで人生観が変われるなら一生一度くらいは挑戦してみたいと思ったからです。

本番当日、会場は約二万人のランナーで埋めつくされました。制限時間6時間15分と時間には余裕がある様ですが、生まれて初めて42kmを完走できるかというプレッシャーに押しつぶされそうになりました。開始してから20km地点までは快適に爽快な風を受けながら走っていたのですが、30kmほど走ると急に体が重くなり膝に痛みがはりました。限界を感じ、何度も棄権しようかと思いましたが、沿道でたくさんの人達が声をかけてくれ、「ちばりよー」（がんばれー）と応援してくれることが励みになり、何とか無事に完走する事ができました。多分、周りの励ましがなかったら完走できていなかったと思います。

走りきったという達成感、やりとげたという満足感、これがマラソンの楽しみ方なのかなと感じました。自分の人生の中でフルマラソンを完走出来たことは自分にとってプラスになったと思います。この感動はチャレンジした者にしか味わうことが出来ません。走ることは単純な事で特別な人にだけにしかできないというわけではありません。誰にでも出来るスポーツです。マラソンの素晴らしさ、走ることの喜びを多くの人達に伝えていこうと思います。今年で5年目になりますがこれからもフルマラソンに挑戦し続けていきたいです。



My Way

朝倉医師会ヘルパーステーションの原 千賀子さん

今回の紹介者は「朝倉記念病院ケアプランサービス 香月 貴広さん」です。

今回、私からご紹介させていただくのは、朝倉医師会ヘルパーステーションでサービス提供責任者をされている原千賀子さんです。

私はまだ介護支援相談員としての仕事を始めたばかりの頃、ある方から「この事業所は良いよ」という話を聞き連絡をしたのが最初でした。

いつ会っても笑顔を決やさないやさしい方です。ご利用者からの様々な問題に対しても適切に判断をされ、助言やご報告などをしていただいています。ご利用者の方々からの信頼も厚く、とても頼りになる存在です。



次回は原さんからのご紹介で

朝倉医師会ケアプランサービスの安丸享子さんです！

介護スタッフリレーコラム

「心のケアを中心に」

あまぎ健康らんどデイサービスセンター 佐藤 正次さん

私共の施設はデイサービスセンターですが、他の介護施設さんとは少し異なります。それは、異業種「ホテル業が介護に参入」したことです。

お客様（ゲスト）に対する接客は元より、お食事に関しても料理長をはじめ、調理パートさんと力を合わせお客様に喜んで頂けるメニューを組んでおります。（四季の素材を取り入れ、懐石料理を思わせる様な工夫もしております。料理長 友納）又、スタッフの制服もレストランの店員のイメージで決めました。他、入浴時の薬草風呂もお客様に大好評です。

普通の介護施設ではあり得ないことでしょうか、月に一回、午前中に介護を終了し希望者の方のみ「大衆演劇・お芝居」を観劇しております。テレビでは無く生の人物が演技をし、感動を与え「思わず、泣いて笑って手を叩き」これこそ健康法の一つと思っています。

私の考える介護とは、身体的な事よりも精神面（心のケア）が必要不可欠と考えます。心のケアが出来ていないと身体は動こうとせず、力（勇氣）を出しません。リハビリは最も大切な事ですから、当センターでは先ず心のケアを中心に介護をさせて頂いております。

まだまだ未熟な私達ですが今後も誠心誠意・真心込めてまいります。どうぞ宜しくご指導お願い申し上げます。

徒然日記

朝倉健生病院 訪問リハビリステーション K・S

～ 学問ノススメ ～

以前、慶応義塾創立150周年を記念して福沢諭吉展が開催されているというCMを見かけました。福沢諭吉は幕末明治の激動の時代にあって、日本の近代化に大きな足跡を残した日本を代表する思想家として知られています。彼の有名な名言として“天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず”があります。

これは“人は皆平等である”を説いたものと思われがちですが、実はこの先に続きがあり世の中の貧富の差を生み出しているのは学問

をしているかそうでないかの差であり、勉学を推奨しているものなんでしょう。

医療の分野は日々進歩しています。私がこの職に就いた頃と比べてリハビリテーションに対する考え方もずいぶん変わってきました。難しさも知りましたし、遣り甲斐を感じることもありました。これから先もリハビリテーションに従事する者として新しい知識、手技の習得に努め利用者の方々の生活の質向上の為に一生学ぶ心を持ち続けたいと思います。

編集後記

前号で写真デビューを果たした本年度広報部メンバーで、本号から紙面作りを開始しました。活動の核となっている部会ですが、自由な雰囲気の中、広報部長を中心に素早く紙面計画を決め、良い雰囲気の中で、毎回ゲストをお呼びして楽しい情報交換を行っています。でも問題もあります。年のせいか、翌日思い出そうとしても、よく覚えていないということ、何故か声がかがれてしまっていることです。協議会組織で大事にしていることは、ネットワークです。即ち人と人とのつながりです。この広報誌が少しでもその役に立てるように楽しい内容にしていきたいと思えます。紙面作りには是非皆様ご参加下さい。ご協力を宜しくお願いします。



事務局
朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田2311
特定非営利活動法人 武光福祉会
TEL (0946)22-9743 FAX (0946)22-5465

編集 / 発行所
朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-0228 福岡県朝倉郡筑前町242-17
(有)エム・エス・ケイ 介護用品ハーデック
TEL (092)926-8109 FAX (092)926-8109
印刷 / 井上総合印刷株式会社